

平成23年度（第3回）鳥取市国民健康保険運営協議会議事概要

I 日 時 平成24年1月26日（木） 午後3時

II 会 場 鳥取市役所第2庁舎 5階第1会議室

III 出席者

委 員 岡崎会長、林会長代行、大西委員、山田委員、山崎委員、
尾崎委員、今井委員、猪口委員、松浦委員、森委員、
山本（真）委員、丸尾委員

鳥取市 竹内市長、井上部長、中島課長、岡本参事、森山課長補佐、
西村主査兼賦課係長、吉田主査兼収納係長、中川主任、
田中保健医療福祉連携課長、尾室主査兼総合健診係長

IV 会議次第

1 開 会

2 市長あいさつ

3 諮 問 (竹内市長から会長へ諮問書を提出)

4 会長あいさつ

5 新委員紹介

6 議事録署名委員の選出

7 議 題

(1) 協議事項

①平成23年度国民健康保険費特別会計歳入歳出決算見込及び補正予算（案）について

②国民健康保険事業の運営について

・平成24年度国民健康保険費特別会計当初予算（案）について

・平成24年度保険料率について

(2) その他

8 その他

9 閉 会

V 議事概要

(事務局)

本日の会議は、委員17名のうち12名が出席ですので、会議は成立することを報告します。

これ以降の日程につきましては、会長に議事の進行をお願いします。

(会長)

これより議事に入ります。初めに議事録署名委員ですが、大西委員と松浦委員にお願いしたいと思います。それでは議事に入ります。

議事に入る前に、前回議論のあったホームページへの議事録公開に際して氏名を公表する件について、結論を出したいと思います。鳥取市の各審議会における状況を事務局から報告してください。

(事務局)

国民健康保険運営協議会のように法令に基づき設置されているものは、鳥取市では19あります。そのうち二つの審議会で氏名を公表していますが、その他については非公表となっています。また、公表している二つの審議会では、全委員の承諾のもとに公表しているということです。

(会長)

委員の皆さんの御意見はいかがでしょうか。

(委員)

前回、慎重に扱ってほしいと申し上げました。前回、氏名公表を提案された方の意見を伺いたいと思います。

(委員)

必要があれば、委員区分と名前を公表してもよろしいかと思います。

(委員)

前回提案したとおり公表してほしいと思います。

(会長)

意見が割れていますので、多数決により決したいと思います。

(結果；公表2人、非公表8人、挙手なし1人(会長を除く))

多数決の結果、非公表に決めさせていただきます。

(会長)

それでは、協議事項①「平成23年度国民健康保険費特別会計歳入歳出決算見込み及び補正予算(案)について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

《資料に基づき説明》

(委員)

現在基金は全くない状況です。平成25年度以降は不足が生じることも考えられるような不安定な状況でもあり、一般会計の法定外繰入の減額分は残して、基金に積み立てることはできないのでしょうか。現在でも重い保険料負担を軽減することにもつながると考えます。

(事務局)

安定的な運営を目指すためには基金に積み立てるという考え方もあろうかとは思いますが、一般会計からの法定外繰入は平成22年度から1/2というルールを定めて実施しています。基金に積み増しをしていくとなるとこの割合以上に法定外繰入をすることになります。将来的な推移をみながら一般会計からの支援の議論をしていく場面もあろうかとは思いますが、現時点でこのルールを変更することは難しいと考えます。

(委員)

一般会計からの法定外繰入は、県の借入なども行ったうえで、まだ足りないからということで無理を言って実施いただいている経過があります。その部分が余ったからと言って国保会計に特化して基金に積むことは、なかなか難しいと思います。

(委員)

ただ、これ以上の保険料率引き上げは、更なる滞納を招くこととなります。国保料の負担も限界であり、生活保護へつながることにもなります。今後負担が生じる恐れがあるなら、それを軽減するため基金に積んでおくことが必要だと思います。

(委員)

2年連続で料率改定をしたのに収納率が86.4%（現年度分）と0.7%上がり、保険料収入額も上がるというのはどのような策からでしょうか。

(事務局)

収納率は、平成22年度は前年対比で0.7%下がった方です。収納率を向上させる策としては、休日・夜間の窓口設置による納付相談の機会を設けたり、コールセンターから納付勧奨を行ったりしているところです。また、収入額が上がった要因は、所得の落ち込みが想定していたよりも緩和されてきたことなどにより、予想よりも調定額が上がっていることによるものと考えています。

(会長)

基金への積み増しについては、一般会計の使い方を本協議会で定めるわけにもいきません。協議会としてはこのような意見もあったということ記録にとどめて、今後の課題として捉えることで平成23年度補正予算については、提案どおり認めるということではいかがでしょうか。

(了承)

次に、協議事項②「国民健康保険事業の運営について」の「平成24年度国民健康保険費特別会計当初予算（案）について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

《資料に基づき説明》

(委員)

資料1の保険給付費について退職被保険者等療養給付費の積算根拠に5.5%増とあるのに、対前年比で90.2%と減っているのはなぜでしょうか。

(事務局)

対前年比は23年度の決算見込みとの比較です。これは、今後医療費の支出できない事態となることを避けるため、今まで医療費支払いが最高額であった月のものを見込んでいるものです。これに対して積算根拠の5.5%増は、本年度の12月診療までの伸び率で年間医療費を積算した場合の見込みとの比較であり、このことによりギャップが生じているものです。

(委員)

大腸がんについては進行が早いといわれています。動機づけのための無料クーポン券事業の対象を3歳ごととくに拡大していくと、ガンにより亡くなる方を防ぐことに効果があるのではないかと思います。また大腸がん検診に取り組む診療所等に支援することはできないのでしょうか。

また、健康づくり事業では、健康づくり推進員が1000人余りで取り組んでいます。安来市などでは先進的な取り組みを行っています。鳥取市ももう少し経費をかけて取り組みを強めていくことが必要かと思いますがいかがでしょうか。

(事務局)

大腸がん検診については、進行が早く、それに伴う医療費が増大するということから言えば取り組みを強めていくべきと思いますが、そのためにどれほどの経費をどこに充てていくのかということは、研究をしていかなければならないと思います。

また、健康づくり推進員については、地域座談会などでも御協力をいただき感謝しているところです。安来市の例でどのような取り組みを行い、どのような経費をかけているかを研究していきたいと思います。

(委員)

年金も下がるようになってきているし、保険料も下げていく方向を考えていただきたいと思います。

(会長)

では、様々な意見も出ましたが、本会としては説明のあった予算案を認めるということでよろしいでしょうか。

(了承)

では、引き続き、「平成24年度保険料率について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

《資料に基づき説明》

(会長)

ただ今の説明について、御意見・御質問がありましたらお願いします。

(委員)

平成25年度の見込みとして、現状でいけば4億円ほど赤字になるとのことですが、確率としてはどれほどあるのでしょうか。

(事務局)

国保会計は、国の支援や診療報酬改定など見定められない部分が多くあります。ここでは、今の状況が続けばという仮定でお示し、現在国保会計の置かれている状況を御理解いただくために記載をさせていただいたところで、どれほどの確率かということは定かには言えないところです。

(委員)

国の方で議論されている共同事業を1円から行うといった改革が影響し

て来るのは25年度からとなるのでしょうか。

(事務局)

国では、財源の確保と一体となって議論がされており、現在は、消費税の論議と一体となっているところです。定かではありませんが、25年度からというのは、急すぎるような感じもします。

(委員)

市としても国や県に対して、安定的な運営をできるように声を上げてほしいと思います。

(委員)

年金の1.5か月分くらいは国保料に納めているような計算になっています。これからすると少しでも料率を下げしてほしいという気持ちがあります。

(会長)

様々な意見もあろうかと思うが、平成24年度は提案通り改定は行わないということによろしいでしょうか。

(了承)

それでは24年度保険料率の改定行わないということでまとめさせていただきます。

(会長)

それでは、議題(2)「その他」について、事務局の方で何かありますでしょうか。

(事務局)

昨年の答申にも入れられていますが、資産割について検討することとなり、調査も行いましたので報告させていただきます。

《資料に基づき説明》

(委員)

不合理な点は多々ありますが、鳥取においてはやむを得ないと思います。

(会長)

それでは、今日の議論に基づいて、私と林会長代行で答申書を出すことになりますが、内容は一任いただくようお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なし)

(会長)

その他、何かありますでしょうか。

(委員)

生協病院では、低額診療を実施しているが、市立病院では実施できないのでしょうか。

(事務局)

市立病院に御意見があったことをお伝えしたいと思います。

(委員)

広域化の議論も次回はお願いしたいと思います。

(会長)

それでは、平成23年度第3回の鳥取市国民健康保険運営協議会を閉会します。